

城ヶ島定例観察会(2014年)

2014年シーズンは、1～6月まで毎月第4日曜日に観察会を実施しました。結果をダイジェストでご報告します。なお、今シーズンも観察会終了後に周辺のテグスやプラスチック製品等のゴミ拾いを実施しました。ご協力いただきました皆様と清掃道具を貸与いただいた“かながわ海岸美化財団”にお礼申し上げます。

◆1月26日：晴。南のち北西の風。クロガモ 15 羽の群やウミアイサのペアの飛翔が美しい。冬季に少ないハシボソミズナギドリが出現。トウゾクカモメがウミネコやカモメを追い回すシーンも観察した。ウミスズメ類はウトウが 2 羽のみ。* 主な観察種：オオハム 1、シロエリオオハム 3、コアホウドリ 1、ハシボソミズナギドリ 1、クロガモ 26、トウゾクカモメ 3、ミツユビカモメ 119、ウトウ 2 ほか

◆2月23日：曇のち晴。北風が冷たい。飛翔して移動するアカエリカイツブリがよく目についた(今シーズンは多い)。ケイマフリが 1 羽飛んだが、ほかのウミスズメ類は低調。* 主な観察種：アビ類 63、シロエリオオハム 5、アカエリカイツブリ 29、ハシボソミズナギドリ 9、トウゾクカモメ 10、ミツユビカモメ 50、ケイマフリ 1、ウミスズメ 3、ウトウ 20 ほか

◆3月23日：晴。北の風。オオミズナギドリの群、アビ類やウミスズメ類の移動も見られ、春らしくなってきた。例年より海水温が低いせいか、初認が遅れたカンムリウミスズメはまだ少ない。北米からジョン・ダンさんら著名なバードウォッチャーが参加。南沖合では先週あった貨物船沈没事故で流出した重油の処理が行われていた。* 主な観察種：アビ類 34、シロエリオオハム 28、アカエリカイツブリ 10、オオミズナギドリ 4215、トウゾクカモメ 1、ミツユビカモメ 6、ウミスズメ 47、カンムリウミスズメ 4、ウトウ 82 ほか

◆4月27日：晴。南の風。早朝はハシボソミズナギドリとウトウがよく飛んだ。トウゾクカモメ類は 3 種類が出現。今シーズンは久しぶりにシロハラトウゾクカモメが多く、優雅に風にたなびく長い尾羽を堪能できた。* 主な観察種：アビ 1、シロエリオオハム 5、クロアシアホウドリ 1、アカアシミズナギドリ 1、ハシボソミズナギドリ 430、オオミズナギドリ多数、トウゾクカモメ 8、クロトウゾクカモメ 11、シロハラトウゾクカモメ 8、ウミスズメ 71、カンムリウミスズメ 11、ウトウ 161 ほか

◆5月25日：曇時々晴。南の強風でクロアシアホウドリが何回か出現。アカエリヒレアシシギは 20～40 羽くらいの群が岸寄りの波間をすり抜けるように次々と通過し、計 1500 羽以上をカウントした。トウゾクカモメ類は数が減ったが、暗色型のクロトウゾクカモメが印象的だった。* 主な観察種：シロエリオオハム 8、クロアシアホウドリ 3、アカアシミズナギドリ 3、ハイイロミズナギドリ 1、ハシボソミズナギドリ 45、オオミズナギドリ多数、アカエリヒレアシシギ 1541、クロトウゾクカモメ 1、ウミスズメ 4、カンムリウミスズメ 2、ウトウ 11 ほか

◆6月22日：梅雨らしく小雨。北の風。海面は凪でオオミズナギドリの群が滑るように飛翔する姿は壮観だった。* 主な観察種：シロエリオオハム 1、オオミズナギドリ 21735、ハシボソミズナギドリ 3、トウゾクカモメ 1、アジサシ類 4、ウミスズメ 2 ほか



写真：観察会の様子(5月25日撮影)
(c)城ヶ島沖の海鳥観察グループ